

汗 焦 着 暗 !



U区に設定された「アゼ」
(歴史館南から見た様子)

年の瀬も近づき、小牧山の木々はすっかり葉が落ち、冬支度がととのったようです。今年も小牧山城の発掘調査にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。

今年度の調査では、「見せる発掘」とい

う新たな取り組みの一環として、見学しやすい高さの安全フェンスを設置しました。その効果もあってか(?)、現場をご覧になられた方から多くのご質問や励ましのお言葉をいただきます。中でも多いのは、「あのアゼは何?」というものです。

考古学による発掘調査では、土の堆積状況を正確に観察して、地層ごとに掘り進めたり、それを記録することが重要です。調査区内の一部をわざと掘り残して地層観察用の「アゼ」を作り、誤って掘りすぎることを防いだり、調査担当者以外でも客観的に遺跡の検討ができるようにしておくことが大切で、小牧山城の発掘調査でも毎回様々な形のアゼが出現します。アゼには、連日の作業の「汗」や“期限内に掘りあげなければ!”という担当者の「焦り」の感情がたっぷり染みこんでいます。

～小牧山 きのこ山～

この秋・冬は暖かく雨が多かったせいか、小牧山を歩いていると例年以上に様々なきのこが生えていました。植物と自然には全く詳しくない担当者が見つけたきのこたちをご紹介します。(詳しくないので名前はわかりません。どなたか教えてください…)

調査中ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします

小牧山城

はつ
つか
わ
ん
片

平成27年度 第7号
発行日: 2015.12.22
発行: 小牧市教育委員会
小牧山課
問合先: 0568-76-1623



地面に掘られた穴を調査するために設定されたアゼ
(小牧市 南外山遺跡)

発掘ひとくちメモ



小牧市教育委員会